

議員永年勤続

# 3市に表彰の規定

## 内容見直す自治体も

大阪市が在任10年以上の市議の表彰の際の記念品を簡素化するなど、議員に対する表彰制度の見直しが進んでいるが、多摩地区には、立川市など3市に議員の永年勤続を表彰する規定があることが7日、読売新聞立川支局の調べでわかった。また同日、多摩地区20市町村の議員らでつくる「三多摩議員ネットワーク」は、全国市議会議長会などに永年表彰制度の見直しを求める申し入れを行ったと発表した。

立川市の内規によると、在職通算25年と35年に達した議員に表彰状と記念品を贈るとともに、議長応接室に肖像画を掲げる。三鷹市は在職期間が通算20年と30年の議員を表彰し、表彰状と2〜3万円相当の文箱を贈るのが通例だという。武蔵野市にも在職30年の

議員を表彰する内規があり、表彰状と額縁を贈る。最近では2001年6月に、該当事が一人おり、額縁428円、表彰状3444円が支出されたという。永年表彰ではなく、「自治体や市政への功労者」として議決を経て議員らに表彰する自治体は多い。小平市

「市民感情に配慮すべきだ」として表彰の内容を見直す自治体もある。八王子市は05年10月の表彰から、「自治表彰」の対象者に贈られていた金杯(3500円程度)を写真立て(2320円程度)に変更した。狛江市も04年から金杯を廃止。「財政が厳しい中で、経費節減と社会情勢に合わせ見直した」という。青梅市も03年4月に条例を改正し、現職市議は表彰しない。

一方、国立市は73年に制定された表彰条例を02年9

月に改正し、市議を対象から除外した。市秘書広報課は「時代情勢をかんがみ、市民から推薦される人に感謝を表すという意味合いの深いものに改正した」としている。

全国市民オンブズマン連絡会議事務局長の新海聡弁護士は「議員とは選挙で選ばれた存在であり、永年の在任が表彰される合理性はない。市政功勞についても市民感情にも合わないのではないか」としている。

申し入れは1月25日で、「全国市議会議長会」「関東市議会議長会」「東京都市議会議長会」に対し、長期在職議員や議会事務局職員を表彰する「永年表彰制度」の廃止を求めた。7日現在、都市議会議長会から回答書が届いたが、制度の

### 26議員の組織 廃止申し入れ

3団体に

多摩地区20市町村の26議員でつくる「市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク」は7日、立川市で会見し、議員表彰制度廃止を全国市議会議長会など3団体に申し入れたと発表した。

廃止については明言されていないという。

同ネットワークは2003年、04年にも同様の申し入れを行った。その後、全国市議会議長会が05年度から職員表彰を廃止し、関東市議会議長会が表彰制度の見直しなどについて自治体の意向を探るアンケートを行った。これらについて門間淑子・羽村市議は「申し入れの効果だと思っっている。全廃されるまで続けた」としている。

八王子市	×※
立川市	○
武蔵野市	○
三鷹市	○
府中市	×※
昭島市	×※
布田市	×※
小金井市	×※
小平市	×※
日野市	×※
東村山市	×※
国立市	×
立川市	×
福生市	×※
狛江市	×※
東大和市	×※
瀬谷市	×※
清久保市	×※
武蔵村山市	×※
多摩市	×※
稲城市	×※
羽村市	×※
あきる野市	×※
西東京市	×※
瑞穂町	×※
日の出町	×※
檜原村	×※
奥多摩町	×※

永年議員表彰の有無 (※は「自治功勞表彰」などの制度がある自治体)

#### 【表彰内容】

立川市は在職25年と35年に達した議員に対し①表彰状②記念品を贈り、③議長応接室内に肖像画を掲げる。武蔵野市は在職通算30年で表彰状と額縁を贈る。三鷹市は在職20年と30年に達した市議に①表彰状②記念品を贈る。